

ひだまり

令和5年11月24日(金)
足立区立中川東小学校
道徳通信 第7号
校長 豊田 純子
道徳教育推進教師 前田 康介

『節度、節制』とは？

前号では、本校の道徳授業における重点指導内容である『親切、思いやり』について解説をしました。

今回は低学年、中学年、高学年の発達段階において、『節度、節制』の道徳性をどのように捉え、授業のねらいとしているのか…簡単に解説していきます。

《『節度、節制』に関する低・中・高学年の捉え》

低学年 1・2年生	健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがまをしないで、規則正しい生活をする。
中学年 3・4年生	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
高学年 5・6年生	安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。

【低学年】



「しっかりできると気持ちいい!嬉しい!」など、『基本的な生活習慣を身に付けることのよさ』を子供たちに実感させることが大切!

【中学年】



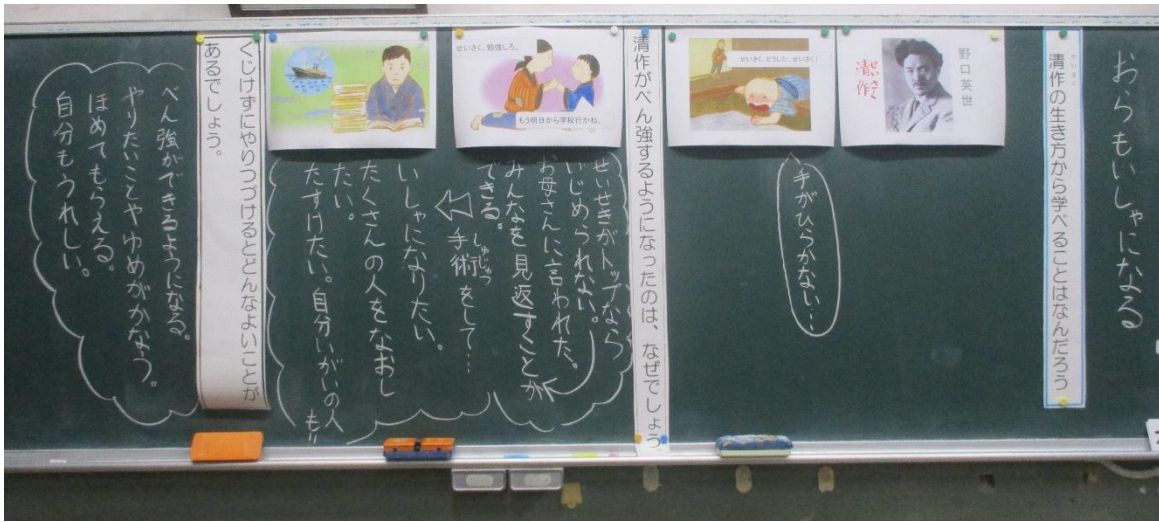
「これは自分でできる!やってみよう!」など、『自分でよく考えて、自発的に生活習慣を整えようとする意欲』を子供たちにもたせることが大切!

【高学年】



「この生活で良いのか?」と、『自分の生活を振り返り、望ましい生活習慣について考えたり、度を越さずに節度を守ろうと心掛けたりする態度』を育むことが大切!

◇2年生の道徳の時間◇



<令和5年11月15日 宮田学級>

教材名: 『おらもいしゃになる』

主題名: やるべきことをしっかりと (授業のテーマを「主題名」と表します)

これは、野口英世の伝記に関する教材です。清作(後の英世)は、小さいころに囲炉裏に落ちて大やけどを負ってしまいます。医者に見せるお金もなく、左手の指ははりつき、にぎったままの手になってしまいました。学校では、いじめられてしまいます。学校に行くのを嫌がった清作は、母から「勉強に左手は関係ない。」と励まされ、勉強を頑張りました。次第にクラスみんなは清作を認め、お金を出し合って手術を受けさせてくれました。清作は手術によって開くようになった左手に感動し、医者になると心に決めます。そして、勉強に励んで医者となり、世界中の人のために一生を捧げるという内容です。

授業では、清作が懸命に勉強するようになったのはなぜかを考え、よい成績を取ればいじめられない、お母さんに励まされた、みんなを見返したいなどの清作の気持ちに触れました。さらに、手術を通して、人を助けたい、たくさんの人を治したいなどの清作の気持ちの変容についても考えました。そして、くじけずにやることのよさについて理解を深めました。ほめてもらえるだけではなく、自分が嬉しくなる、やりたいことができる、夢が叶うなどの意見が出され、頑張ることがなりたい自分に繋がることにも気付くことができました。

今回学習したことや気付いたことを胸に、2年生の子供たちが最後まで努力しようとする姿がいろいろな場面で見られると嬉しいです。